

航空管制員(1/2)

1 仕事の内容

航空管制の仕事は、日本の空を飛ぶ航空機を安全に運航させる仕事です。航空機に乗るパイロットと無線で交信をして離陸から着陸まで様々な指示やアドバイスをします。

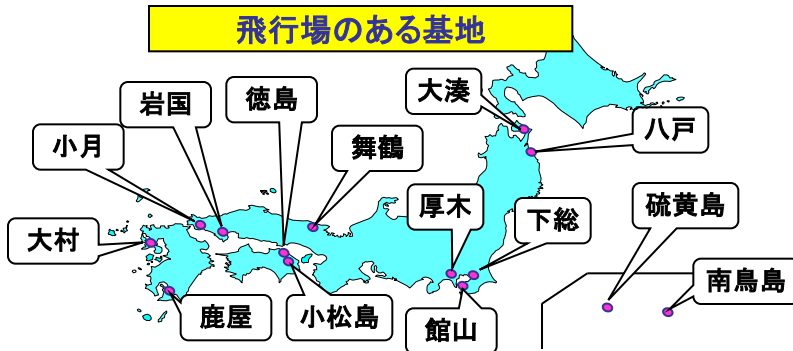
この仕事は自衛隊と国土交通省でのみ実施しています。(右図参照)

2 仕事に就くために

教育隊終了後、航空自衛隊の術科(専門の)学校で航空管制の基礎を学びます。その後各飛行場へ配属され、シミュレーターや実際の現場で訓練をして国家資格を取得していきます。これは成田など民間で働く航空管制官と同じ資格です。

3 主な勤務地

海上自衛隊の飛行場のある基地のほか、ヘリコプターを搭載する護衛艦に乗艦し、日本周辺海域や海外に行くことも。中には砕氷艦しらせで南極に行く隊員もいます。(下図参照)



航空機を実際に見ながら管制



管制用レーダーで航空機を誘導

航空管制員(2/2)

4 取得可能な資格(免許)

航空交通管制技能証明(飛行場管制、着陸誘導管制、ターミナル・レーダー管制、進入管制)、
航空無線通信士、航空英語能力証明

5 ライフスタイル(10年間の配置換え等)

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
教育隊(練習員課程)	航空基地(部隊実習)	第5術科学校(小牧) (航空管制員課程)	航空自衛隊	航空基地 飛行場管制及び着陸誘導管制業務 (国家資格取得)	飛行支援管制所 ・ヘリ搭載護衛艦乗組 ・洋上管制所等		航空基地 ターミナル・レーダー (進入)管制業務(国家資格取得)		
					航空基地 ターミナル・レーダー (進入)管制業務(国家資格取得)		飛行支援管制所 ・ヘリ搭載護衛艦乗組 ・洋上管制所等		



シミュレーターでの訓練



360度の展望塔が仕事場



護衛艦の中から



女性も乗れるようになった



最初はみんな初心者!
しっかり訓練するので、
どんな状況にも冷静に対
応できるようになります。



チームで安全を見守る



砕氷艦で南極へ